

第 31 回

令和 8 年 4 月 13 日

No.1778

会長 藤田 敬治

幹事 菊池 武司

例会日/毎週月曜日 12:30~

例会場/トキハ会館 4F

TEL 097-532-0611

FAX 097-532-8386

会長スローガン

よいことのために手を取りあい、
新たなクラブ活動を目指そう！
~明るく、楽しく、さわやかなクラブ運営を~

Email : oita1985rc@mist.ocn.ne.jp

ホームページ : www.oita1985rc.jp

UNITE
FOR
GOOD

R I 会 長
RI第2720地区ガバナー
大分第4グループガバナー補佐

2025-'26年度
国際ロータリーのテーマ

「よいことのために
手を取りあおう」

フランチェスコ・アレツォ
藤田 千克由
森 永 隆 二

■ 本日のプログラム (4月13日)

12:30	点 鐘	
	会 食	
	ロータリーソング	「それでこそロータリー」
	ゲスト・ビジターの紹介	会 長 藤田 敬治
	会長の時間	会 長 藤田 敬治
	出席報告	出席担当 高橋 道成
	幹事報告	幹 事 菊池 武司
	委員会報告	「関係委員会」
	ニコニコタイム	高橋 道成
13:00	「令和8年度大分市の予算について」	
	藤田 敬治会員	

■ 第30回例会の記録 (4月6日)

「キラケがつくる大きな未来
—大分での福祉と農業の挑戦」
石丸 文子様 (株式会社 藤花 代表取締役)

■ ゲスト・ビジターの紹介

ゲスト：石丸 文子様((株)藤花 代表取締役)

・ 出席報告 (4月6日)

会員総数	22 名
4 月 6 日	
出席免除	0 名
出席会員数	14 名
出席率	63.64 %
ゲスト	1 名
ビジター	0 名
3 月 23 日	
修正出席率	71.43 %

■ ロータリーソング 【それでこそロータリー】

どこであってもやあとと言おうよ 遠い時には手を振り合おうよ
見つけた時にゃ それでこそ
おいと呼ぼうよ ローローロータリー

■ 会長の時間 (4月13日) 会長 藤田 敬治

大分市は、令和8年度当初予算が3月議会で可決され、新年度がスタートしていますので、その内容について触れてみます。

足立市長は、「人が真ん中」を基本姿勢として、人を守り、育み、支え、そして豊かに、元気にするためのまちづくりをより一層強く進め、すべての市民が身体的、精神的、そして社会的にも満たされたウェルビーイングな社会、誰もが幸せを実感できる大分市の実現をめざすとしています。

令和8年度の市政運営にあたり、佐賀関の復興を着実に前進させることと併せて、物価高への対策を講じるとともに、人口減少・少子高齢化をはじめデジタル化の進展、脱炭素化への移行、社会経済情勢が変化する中で、県全体の発展をけん引する先導的な役割を果たしながら、国や県、周辺自治体とも連携に取り組んでいます。

さて、大分市の予算総額は、3801億1200万円で過去最大の予算規模となりました。その内、新規事業は、23事業、約35億9000万円で、既存事業については、事業の実施体制や内容等の拡充により、2億2000万円の増額をした一方で、社会情勢の変化等により必要性が低下している事業や費用対効果が低い事業など、廃止23事業をはじめ、63事業について、優先的に見直しを行いました。

「ひとが真ん中」を基本姿勢としたまちづくりの主な取り組みは、以下のとおりです。

(佐賀関大規模火災復興関連事業)

復興の新たなフェーズに移行するにあたり、「佐賀関復興市営住宅建設事業」など14事業3億5500万円の関連予算を計上しています。

(物価高騰対策関連)

「住民税非課税世帯給付金事業」や「中小企業等賃上げ奨励事業」など、16事業、42億5800万円を計上しています。

(5つのまちづくり)

「ひとを守る」では、・被害認定調査業務等デジタル事業や、・特殊詐欺被害防止対策事業など、防災対策並びに犯罪の抑止防止。「ひとを育む」では、・市立小学校給食費無償化事業や、・5歳児健康診査事業などへの取り組み。「ひとを支える」では、・窓口スマート事業や、・市立及び私立保育所等徴収事務効率化、「ひとを豊かに」では、・脱炭素先行地域づくり事業や、・新環境センター整備事業等への取り組み。「ひとを元気に」では、・アーバンスポーツ魅力創出事業や、・インクルーシブ遊具体験会等に取り組めます。

石丸 文子様 (株式会社 藤花 代表取締役)

- ・福岡県出身
- ・看護学校卒業後、看護師として病院や福祉施設に勤務
- ・2021年 株式会社 藤花 を設立

社名の由来

古事記の「藤の花衣」という物語。藤の花は人と人のつながりを表す花、女性のやさしさや美しさを表す花である。私たちがよりよく輝かせる事が出来るようにとの願いを込めて。

(株)藤花について

藤花は農業と福祉を中心とした会社。農業は菌床キクラゲ、福祉では女性専用のグループホーム運営を行っています。

なぜ、キクラゲ？

現在、日本でキクラゲとして販売されている多くは中国からの輸入であり、国産のキクラゲの流通量は10%に満たない状態です。キクラゲは、大変栄養価の高い食材であり、中国では食べる漢方とも言われている食材です。その栄養価から、サプリメント等にも期待されています。しかも、国産のキクラゲの品質は、正直に良いものとは思えないのも現実です。輸入の見た目も食感も良い安価な物と、国産だが見た目も食感もあまり良くない高価なキクラゲ。当然ですが、良いもので安価な物を選ぶのが消費者の当然の心理です。ここに挑戦したいと、私は思いました。

キクラゲ栽培について

高品質な国産のキクラゲ、福祉を前面には出さずに、当たり前のように手に取っていただけるために、研究・挑戦、様々な企業と協力をしています。

キクラゲ栽培を調べていくと、もう一つ気づいたことがありました。

「負担の少ない栽培環境」

- ・軽い 力の弱い人の負担軽減
 - ・暑さ 栽培環境は遮光
 - ・室内 収穫、洗浄以外は室内で可
- 体に負担の少ない栽培が可能。障がい者だけでなく、女性でも多くの作業ができる農業。
- そして今、日本では農福連携という取り組みが広がっています。

幹事報告

- ・クラブ細則と定款について
この度、推奨定款に沿って定款とクラブ細則を改正します。本日、回覧しています。欠席の方は、FAXにてお知らせします。21日後の5/11(月)例会において、出席会員の3分の2の賛成によって改正します。
※4/6理事会報告は、次週掲載します。

例会の予定

- 4月20日(月) 職場例会
見学「南蛮BVNGO交流館」
集合：大分県立芸術文化短期大学
第6駐車場 11時50分
- 4月27日(月) 定款細則の規定により休会
- 5月 4日(月) 祝日休会
- 5月11日(月) 次年度組織発表
- 5月18日(月) 宇野敬三様 (愛育学園はばたき)の卓話
- 5月25日(月) ゲスト卓話 (大木会員より紹介)

魅力的なきくらげパワー



キクラゲを中心とした農福連携の新事業モデル

「農福連携とは」

- ・農業は、人手不足・高齢化
- ・福祉は、働く場所が不足・女性が多い職種

互いに助け合う仕組みが農福連携。キクラゲと福祉が繋がると、地域に3つの価値が生まれます。

- ①働く場所
- ②地域産業
- ③人のつながり

ここ大分県は・椎茸などの栽培が強い地域です。そこに菌床での栽培、キクラゲと福祉が加われば、新しい地域モデルが作れると思います。

最後に、キクラゲは小さなキノコですが、その背景には「人の仕事・地域産業・社会参加」があります。小さなキノコから、大分の福祉の未来の一助になる。そんな可能性を感じています。



委員会報告

- ・地区ラーニング・協議会について報告
会長部会 大木会員
公共イメージ部会 宿利会員
職業奉仕部会 坂本会員
管理運営部会 清水会員
青少年奉仕部会 藤田会員

ニコボックス

- ★河野 聡会員 (1口)
結婚記念日のお花をありがとうございます。
4月1日エイプリルフールの日ですが、7周年となりました。ますます関係良好です。
- ★佐方 文昭会員 (1口)
石丸さんがゲストに来てくれました。
- ★宿利 美穂会員 (1口)
今日は、私の友人の石丸さんが卓話に来てくださいましたのでお礼に1口させていただきます。
彼女はキクラゲの専門家であり、人脈も豊富でとてもステキな女性です。
秋頃、仕事が落ち着いたら私達の仲間となってくれそうですので、みなさん仲良くしてください。
よろしく願いいたします。